

(社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	M03139
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp



水系 2 液型エポキシ樹脂さび止め塗料

水系 ハイエポソ

MIZUKEI HIGH-EPON

水系ハイエポソは、環境を配慮した水系塗料でありながら、防食性、付着性を高めた水系 2 液型エポキシ樹脂さび止め塗料です。建築物の屋根基材、および周辺金属部等の塗り替えに最適です。溶剤、弱溶剤タイプよりも臭気が少なく、消防法上の非危険物として取扱い可能となり、安全性が高い塗料です。さらに水系の上塗り塗料と組み合わせることでオール水系仕様での防錆仕様が可能となります。

用途

金属基材の塗り替え改修、建物外部の鉄部全般

特長

- 水系塗料でありながら高い防錆性能を発揮します。
- 水道水で希釈ができ、臭気が少なく環境に配慮した水系塗料です。
- 鉛・クロムフリーで安全性、防食性に優れます。
- 各種金属基材、各種旧塗膜に対しての付着性に優れます。

適合下地

各種カラー鋼板・無塗装金属板

各種金属基材との適合性

金属基材		塗装可否
カラー鋼板 (一般ポリエステル系)		○ ※1
塩化ビニル鋼板		×
フッ素鋼板		×
無塗装板	鉄	○
	ステンレス鋼板(SUS430)	○ ※2
	ステンレス鋼板(SUS304)	○ ※2
	アルミニウム板(A1050P)	×
	銅板(C1100P)	○ ※3
	電気亜鉛めっき鋼板	○ ※4
	溶融亜鉛めっき鋼板(トタン)	○ ※4
アルミ合金めっき鋼板 (ガルバリウム鋼板)		○ ※4

既存塗膜との適合性

既存塗膜 (艶がなく樹脂が劣化している状態)		塗装可否
1液型特殊アクリル	トタンペイント(特殊アクリル系)	△ ※5
1液型アクリルシリコン	シリコン系トタンペイント	△ ※5
1液型アクリル	トタンポリマ	×
1液型アクリルシリコン	デルニEX	×
2液型ポリウレタン	ルーフマイルドU	○
2液型アクリルシリコン	ルーフマイルドSi	○
2液型バイオマスシリコン	バイオマスR-Si	○
2液型アクリルシリコン	PSマイルドSコート	○
2液型アクリルシリコン	パワーシリコンマイルドII	○
2液型フッ素	パワーフロンマイルド	×

- ※1 基材が未劣化の場合は塗装できません。
 ※2 必ず目粗しをしてから塗装してください。
 ※3 緑青が発生している場合には、必ず酸処理をしてから塗装してください。
 ※4 基材が未劣化の場合は目粗しをしてから塗装してください。
 ※5 既存塗膜と下地との密着が悪い場合が多いため、しっかりとご確認ください。また、小面積でテスト塗装を行い、付着をご確認ください。

適合上塗り材

<屋根用塗料>

ルーフピアニ、水系シリコン、水系ナノシリコン、水系カスタムシリコンII、水系パワーフロン、^{*}パワーシリコンマイルドII、パワーフロンマイルド、バイオマスR-Si、ルーフマイルドSi、ルーフマイルドU、スーパーギルソ

<外壁用塗料>

ナノコンポジットW、ナノシリコンW、パワーシリコンMX、マイルドU、マイルドSi

※水系パワーフロンを上塗りに塗装する際には、必ず「水系パワーフロン中塗り」を塗装してください。
 ※水系パワーフロンは寒冷地では塗装できません。詳細につきましては営業担当者へお問い合わせください。
 (上塗り塗料については、別途製品カタログをご参照ください。)

塗装仕様

■屋根用仕様の場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、塗膜に膨れ、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。									
下塗り	水系ハイエボン 主剤9kg 硬化剤6kg	5~7% (希釈水)	ハケ ローラー	1	0.16~0.18	83~94	4h以内	-	16h以上 7日以内	-
上塗り	ルーフピアニ A液 15kg B液0.3kg	5~15% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.12~0.15	51~64	24h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

■外壁用仕様の場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、塗膜に膨れ、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。									
下塗り	水系ハイエボン 主剤9kg 硬化剤6kg	5~7% (希釈水)	ハケ ローラー	1	0.16~0.18	83~94	4h以内	-	16h以上 7日以内	-
上塗り	ナノコンポジットW 15kg	4~8% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.12~0.18	42~63	-	2h以上	-	24h以上

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

可使時間

	温度					
	5℃	10℃	20℃	25℃	30℃	35℃
硬化剤の種類	水系ハイエボン 硬化剤			水系ハイエボン 硬化剤 夏用		
可使時間	使用不可	4 h	4 h	4 h	2 h	1.5 h
塗装間隔		24 h以上 7日以内	16 h以上 7日以内	16 h以上 7日以内	16 h以上 4日以内	16 h以上 4日以内

荷姿

水系ハイエボン 15kgセット (主剤9kg 硬化剤6kg)
 15kgセット (主剤9kg 硬化剤夏用6kg)
 5kgセット (主剤3kg 硬化剤2kg)
 5kgセット (主剤3kg 硬化剤夏用2kg)

※硬化剤は気温25℃未満では「水系ハイエボン 硬化剤」、25℃以上では「水系ハイエボン 硬化剤 夏用」をご使用ください。

色目

グレー (日塗工 N-50 程度)

注意事項

○上塗り材：ルーフピアニ (ルーフピアニは2液型塗料です。)

A液とB液の混合は必ず規定の調合割合になるように混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。

A液とB液混合後およびB液の水希釈後の可使時間は24時間 (夏季) です。

○下塗り材：水系ハイエボン

1. 2液型塗料のため、使用後のハケなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。

2. 可使時間を過ぎても塗料粘度の上昇がほとんどないため使用可否を判断できません。可使時間を過ぎた塗料は使用を避けてください。

可使時間を過ぎた塗料を使用すると塗膜性能不良となります。

3. 気温が25℃以上になる場合には水系ハイエボン硬化剤 夏用をご使用ください。通常の硬化剤では塗装用具が早期に固まり塗装しづらくなります。

4. 屋根材の表面温度が60℃以上の場合には施工を避けてください。夏用硬化剤を使用した場合でも、塗装用具が早期に固まり塗装しづらくなります。

1. 被塗物の表面温度が5℃以下の場合には塗装を避けてください。

2. 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものをご使用ください。

3. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度 (80%以上)・低気温 (5℃以下) の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。

4. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。

5. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。

6. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。

7. 金属屋根のはぜ部分など、構造上膜厚がつきにくい部分は、さびが生じやすいため、拾い塗りなどでしっかりと塗装してください。

8. 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。

9. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合は、目粗しを行って再度塗装してください。

10. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。

11. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。

12. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。

13. ご使用前には充分攪拌してください。

14. 2液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。

15. 2液型塗料は、硬化が不十分な場合、シンナーで再溶解する場合があります。

16. 排水溝には捨てないでください。

17. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。

18. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。

19. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。

20. 化学物質過敏症の方は、塗料に含有している化学物質 (VOC等) に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。

21. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151

東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

OND2210